さとがき

http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp/　里垣小ホームページ

里垣小学校だより
平成27年 7月14日
甲府市立
里垣小学校
校長　佐野　茂

待ちわびた夏の陽ざし

早いもので、平成２７年度の１学期が終わろうとしています。皆様のご協力を得て、予定していた様々な行事も無事終了し、子どもたちもそれぞれ成長した１学期でした。

入学式・始業式から始まり、ＰＴＡ総会、家庭訪問、６年生の修学旅行、５年生の林間学校、４年生の連合音楽会、各学年の校外学習、授業参観、学級懇談会、各種検診・検査、かえで支援学校との交流、避難訓練・・・等々。

これら行事や計画は、保護者の皆様の協力を得て、より成果をあげることができたものと感謝しております。ありがとうございました。２学期に入るとすぐ、秋季大運動会も予定しています。これからも保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、梅雨らしい梅雨ですね。７月に入っての日照時間の少なさには、いささか閉口してしまいました。雨が降らないのも困りますが、１０日も灰色の雲や雨ばかり見ていると、お日様のありがたさが身にしみます。何事も、適度に良いバランスが保たれるといいのですが・・・。思い通りにはいかないですね。

この天気のために、プール授業の回数が少なくて、かわいそうでした。今年の水泳に関する目標は、夏休み中になるべくプールへ通って、その達成を目指すようにしてほしいと思いました。

さて、４１日間の長い夏休みが始まります。「夏休みの生活について」のプリントをご覧いただき、有意義な夏休みになるよう、日々の生活の様子を見ながら、児童への助言・支援・指導をお願いします。細かいことは、各学年から出されるプリント等で確認をお願いします。私が特に心がけていただきたいと思っていることは、『①生活リズムを崩させない』『②夏休みをきっかけに家事の一翼を担う』の２点です。

『①生活リズムを崩させない』

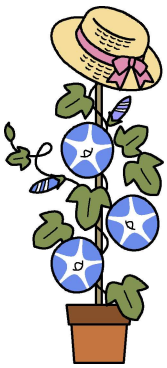
普段登校している時は、多少生活リズムが崩れかけても、「学校へ行く」という大きな柱があるため、早期にリズムを取り戻すことができますが、夏休みなどの長期休業中に生活リズムが乱れてしまうと、立て直すのにかなりの労力を使うことになります。

「休み中だから」と夜更かしを大目に見れば、朝起きることが辛くなり、寝坊や二度寝をしてしまいます。すると、就寝時間になっても眼が冴えて眠れなくなり、夜更かしをするという悪循環に陥ります。加えて、大概こういう時の夜更かしは、大人の目が届かないところで、ゲームをしたり、動画を視聴したりします。おもしろいのでなかなか自分の意志で止めることができず、尚更夜更かしを深めてしまうという事態になります。悪循環に入り込まないことが肝心です。

日中の過ごし方も、「一日の大まかな流れ」と「日々の内容」の２つの計画を事前に立て、実施状況と明日の計画を毎晩１０分間ほどの時間を使って確認してやるといいと思います。「学校生活」という柱がないため、まずは休み中のリズムを身につけるための支援が必要だと思います。中学生になれば、自己管理に委ねても問題ない生徒も出てきますが、小学生の間は、保護者の支援が必要ですし、一日の動きを確認することが親子のコミュニケーションにもなります。日によっては短い時間でも結構ですので、確認をお願いします。

『②夏休みをきっかけに家事の一翼を担う』

夏休みの課題があるにしても、毎日７～８時間過ごしていた「学校生活」が無いということは、自分で考えて使える時間がとてもたくさん出現することになります。夏休みの課題に取り組む時間以外の「自由に使える時間」の多くが、遊ぶことに費やされるであろうことは明白ですし、小学生には、安全に注意しながら、たくさん体を動かして遊んでほしいとも思います。

ただ、多くの時間を遊びだけに費やしてしまうのはもったいないと思いませんか。時間的に余裕のある夏休みだからこそできることに取り組んでほしいと思っています。不思議に思ったことを徹底的に調べてみたり、毎日観察をつづけて、それを記録・分析してみたり、・・・。家事の手伝いもその一つです。

学年によって、子どもの成長度合いによって、手伝いの内容や量は違うと思いますが、少なくとも一つの役割を担い続けることは、自分も家族の一員として役立っていることを実感し、帰属意識を高めるなど、心の成長を促すことにつながります。「朝、新聞を持ってくる」「花への水やり」「洗濯物を取り込む」「お風呂場の掃除」「洗濯物をたたむ」・・・・等々。各家庭によって状況はまちまちですから、子どもと話し合い、決めると良いでしょう。実践できたら褒め、忘れていたら実行を促す支援をお願いします。